

---

**美術科(工芸・彫刻・テキスタイルの3コース)による作品展を1/19より悠創館で開催。  
各専攻の学生たちが素材と向き合い制作。インターネットでも配信します。**

---

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）は、美術科彫刻コース、美術科工芸コース、美術科テキスタイルコースの2年生たちが、1月19日より、悠創館にて、学びの成果を発表する作品展を開催します。コロナ禍でご来場いただきにくい状況も考慮し、一部オンライン配信も行います。

◎彫刻コース 見逃してしまうような何気ない「きらめき」を表現 彫刻展「かたわらのきらめき」



彫刻コースでは、2年生15名が、日々の生活に潜む小さな「きらめき」や、今まで意識していなかった物事、日常的に思い浮かべることからインスピレーションを得た、「生活と彫刻」（石彫）、「発見と再構成」（金属彫刻）、「折りたたんだ衣服」（木彫）15点を展示します。

日常に作品がある環境を想定した「モデルルーム」も設置し、作品がもたらす日常空間の変化を体感いただけます。【写真左：『0の系譜』石彫、写真右：『廻る』（金属彫刻）】

◎工芸コース 陶芸・金工・漆芸の三専攻が一堂に。「三拍子そろっ展」



工芸コース（陶芸・金工・漆芸）の2年生28名が、「繋げる」（陶芸）、「飛躍」（金工）、「整える」（漆芸）をテーマとし、専攻ごとの力作を展示します。各専攻の作品の違いや、それぞれの表現を見比べる楽しさがあります。【写真左：釉薬をかけた器（陶芸）、写真中央：金槌と当て金で銅鍋を挟み打ち、形を安定させる均し加工（金工）、写真右：弁柄漆で上塗りし室で乾かしている片口（漆芸）】

◎テキスタイルコース 自らの手で多様な素材を紡ぐ 「十人 T■IRO展」(じゅうにんといろてん)



テキスタイルコース2年生10名の学生たちが、自らの手で糸を紡ぐ経験、素材に向き合い考える経験、生活の中から得た視点、思考から生まれた作品、制作プロセス資料、色に名前をつけた写真作品「イロドリ」を出品します。

会期中はギャラリートークおよびオンラインで展覧会をご覧いただける「SNS会場」をInstagram、Twitterで設置します。ソーシャルディスタンスを保ち

ながら展覧会を楽しめる運営を行います。

テキスタイルコースギャラリートーク:2021年1月23日(土)10:30~11:00、14:30~15:00

SNS アカウント:Instagram [https://www.instagram.com/tuad\\_toiro10/](https://www.instagram.com/tuad_toiro10/)

Twitter [https://twitter.com/tuad\\_toiro10?s=11](https://twitter.com/tuad_toiro10?s=11)

つきましては、ぜひこの取り組みをお知らせ頂きたく、広報のお願いを申し上げます。

会期中、会場風景等取材いただくことが可能です。取材の際は以下の企画広報課まで、事前にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

◎上記、3コース共通開催日時

会期:2021年1月19日(火)~24日(日)

時間:9:00~17:00

会場:悠創館(山形市上桜田366)

入場:無料

---

配信元:東北芸術工科大学 企画広報課 TEL:023-627-2246